

氏名	椎 名 宏
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 183 号
学位授与の日付	昭和41年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	小腸内の壁内神経細胞の機能に関する研究 第1編腸壁内神経細胞のアセチルコリン生成にはたす 役割について 第2編生体内小腸運動におよぼす麻酔薬の作用機序につ いて
論文審査委員	教授 小坂 淳夫 教授 福原 武 教授 平木 潔

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

3種類の Thiry-Vella空腸瘻, すなわち正常腸瘻, 腸間膜動脈神経の切断された腸瘻および完全貧血法によって腸壁内神経細胞の破壊された腸瘻をそなえた無麻酔イヌを用い, 腸壁内神経細胞の腸管運動調節にはたす役割について研究した。

第1編: neostigmine の投与は, 神経細胞破壊腸瘻の運動には何等の効果もおよぼさないが, 他の2種類の腸瘻の運動を亢進させた。他方各腸片の acetylcholine 含有量を比較すると, 神経細胞破壊腸片の acetylcholine 含有量は正常腸片のその1/2以下であった。この結果から腸管における acetylcholine生産は主として壁内神経細胞に由来すると結論することができる。

日本生理学雑誌 第27巻5号昭和40年5月に掲載

第2編: 上述の3種類の小腸瘻を用いることによって数種麻酔薬の小腸運動におよぼす効果を, さらにこの薬物の作用点を研究した。その結果によって barbiturate, chloralose および urethane は神経細胞にはほとんど作用せず, 腸筋に対して抑制的に作用し, morphine は両者に対して亢進的に作用し, hyoscine-N-butylbromide は両者に対し麻痺的に作用すると結論した。

日本生理学雑誌 第27巻7号昭和40年7月に掲載

論文審査の結果の要旨

椎名宏提出の「小腸の壁内神経細胞の機能に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

3種類の Thiry-Vella 空腸瘻，すなわち正常腸瘻，腸間膜動脈神経細胞の切断された腸瘻，および完全貧血法によって腸壁内神経細胞の破壊された腸瘻をそなえた無麻酔イヌを用い，腸壁内神経細胞の腸管運動調節に果たす役割につき，先ず neostigmine 投与時の腸瘻の運動および各腸片の acetylcholine 含有量の測定を検討し，acetylcholine 生産が主として壁内神経細胞に由来することを明らかにし，次で数種の麻酔薬（barbiturate, chloralose, urethane, morphine, hyoscine-N-butylbromide など）の小腸運動におよぼす効果とこれら薬物の作用点を明らかにし，従来の見解に対し新知見を加えた。

以上の通り本論文は新しい知見に富み，学術上有益であり，著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。